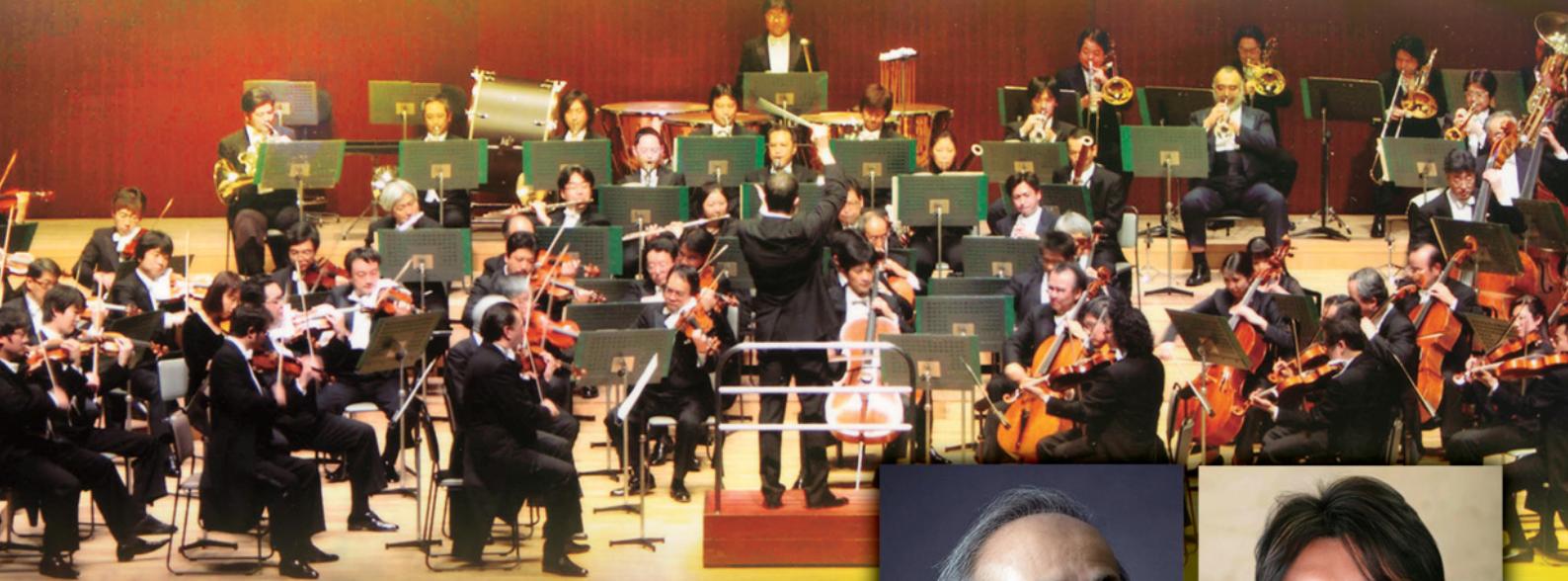


iichiko presents

# NHK交響楽団

NHK SYMPHONY ORCHESTRA  
TOKYO



## ラフマニノフ

パガニーニの主題による狂詩曲

交響曲第2番ホ短調

指揮：尾高忠明  
(NHK交響楽団正指揮者)

ピアノ：小曾根真

Rachmaninov  
2012.3.3(土) 開演15:00 開場14:15

iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ

GS席6,000円／S席5,000円／A席4,500円／B席4,000円／学生割引 半額 (S～B席のみ・25歳以下の学生対象・枚数限定)

[チケット取扱] iichiko 総合文化センター 1Fインフォメーション 097-533-4006

※iichiko総合文化センターのみ取扱・要学生証

ローソンチケット (Lコード: 81960) 0570-084-008、トキハ会館3Fプレイガイド 097-538-3111

チケットぴあ／セブン・イレブン各店 (Pコード: 148-270) 0570-02-9999、中央町プレイガイドビートパワー 097-538-1386

2011年12月3日 (土) 10:00 販売開始

後援: NHK大分放送局・大分合同新聞社

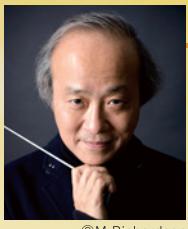
主催

(財) 大分県文化スポーツ振興財団

TEL.097-533-4004

iichiko総合文化センター

検索

**尾高 忠明 (指揮)**

Tadaaki OTAKA, conductor

NHK交響楽団正指揮者(2010年1月～)・新国立劇場オペラ芸術監督(2010年9月～)・メルボルン交響楽団首席客演指揮者(2010年1月～)・札幌交響楽団音楽監督(2004年5月～)BBCウェールズ交響楽団(現BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団)桂冠指揮者(1996年1月～)  
1947年生まれ。74年より東京フィルハーモニー交響楽団の常任指揮者(現桂冠指揮者)、81年～86年札幌交響楽団正指揮者、92年～98年読売日本交響楽団常任指揮者(現名誉客演指揮者)を務めた。84、89年東京フィル、93、97年には読売日響のヨーロッパ公演を成功に導いた。87年にBBCウェールズ交響楽団首席指揮者に就任。同団とは「オーケストラとの8年間、尾高はウェールズで奇跡を行った(ロンドン・サンダー・タイムズ紙)」と高い評価を得ている。

2000年には紀尾井シンフォニエッタ東京(現桂冠名誉指揮者)とのヨーロッパ・ツアーを、01年には札響との英国ツアー、05年同団との韓国公演、11年同団とのヨーロッパツアーを行ないずれも絶賛を博した。

その他、国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、バンベルク響、シドニー響、オーストリア・フィル等世界各地のオーケストラへ客演している。

91年度第23回サントリー音楽賞受賞。93年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号を、ウェールズ大学より名誉博士号を、97年英國エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。さらに99年には英國エルガー協会より、日本人初のエルガー・メダルを授与されている。

また東京藝術大学指揮科主任教授、相愛大学音楽学部客員教授として後進の指導に当たっている。

**小曾根 真 (ピアノ)**

Makoto OZONE, piano

父、小曾根実の影響でジャズに興味を持ち独学で音楽を始める。12歳の時にオスカー・ピーターソンの演奏を聞き、ジャズ・ピアノを始める決意をする。1980年渡米。83年ボストンのバークリー音楽大学、ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年NYカーネギーホールにてソロ・ピアノ・リサイタルを開き、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」にて全世界デビュー。

また同時にゲイリー・バートンのグループに参加、ワールドツアーを開始。この頃からバートンをはじめとする様々なミュージシャンに曲を提供するようになる。これまでに多数のCDをリリースしており、2003年ゲイリー・バートンとのデュオ作『ヴァーチュオーン』(Concord)で、第45回グラミー賞に初ノミネート。

近年はクラシックにも本格的に取り組み、シャルル・デュトワ、アレクサンダー・ラヴィノヴィッチ、尾高忠明、井上道義、大植英次らの指揮のもと、シンフォニア・ヴァルソヴィア、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、北ドイツ放送交響楽団などと共に演奏。ガーシュウィン、バーンスタイン、モーツアルト、ベートーヴェン、ショスタコーヴィチの協奏曲でソリストを務め、高い評価を得ている。

国内外での精力的な演奏活動のかたわら、人気FMジャズ番組「OZ MEETS JAZZ」のパーソナリティーを務めるほか、NHK-BS「世界遺産 時を刻む」のテーマ音楽や舞台音楽を手がけるなど幅広いジャンルで活躍している。2010年4月、ショパンの生誕200年を記念したアルバム『ロード・トゥ・ショパン』をリリースし、全国ツアーを成功させた。最新アルバムは東日本の復興を支援するアルバム「Live & Let Live - Love for Japan」。2011年度より、国立音楽大学ジャズ専修主任教授。公式ホームページ：<http://makotoozone.com/>

## NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra,Tokyo

NHK交響楽団の歴史は、1926年10月5日にプロ・オーケストラとして結成された新交響楽団に遡る。その後、日本交響楽団の名称を経て、51年に日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK交響楽団と改称した。この間、ドイツからジョセフ・ローゼンstockを専任指揮者として迎え、日本を代表するオーケストラとしての基礎を築く。演奏活動の根幹となる定期公演は27年2月20日の第1回予約演奏会に始まり、第2次大戦中も中断することなく続けられた。以来、今日に至るまで、ヘルベルト・フォン・カラヤン、エルネスト・アンセルメ、ヨーゼフ・カイルベルト、ロヴォ・フォン・マタチッチなど世界一流の指揮者を次々と招聘、また、話題のソリストたちと共に演奏し、歴史的名演を残している。

近年N響は、年間54回の定期公演(NHKホール、サントリーホール)をはじめ、全国各地で約120回の演奏活動を行っている。その演奏は、NHKのテレビ、FM放送で全国に放送されるとともに、国際放送を通じて欧米やアジアにも紹介されている。また、60年以来の定期的な外国公演など、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

現在N響が擁する指揮者陣は、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠指揮者ウラディーミル・アシケナージ、桂冠名誉指揮者ウォルフガング・サヴァリッシュ、名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、正指揮者 外山雄三、尾高忠明、首席客演指揮者アンドレ・プレヴィン。また、ネルロ・サンティ、準・メルクル、ロジャー・ノリントンら、多彩な実力派たちが定期的に客演している。



©S.Takahara

## iichika グランシアタ ジュニアオーケストラ 第3回定期演奏会

**とき** 2012年3月31日(土) 13:15開場  
14:00開演

**ところ** iichika 総合文化センター  
iichika グランシアタ

**指揮** 山下一史(仙台フィルハーモニー管弦楽団正指揮者)

**曲目** シベリウス：交響詩「フィンランディア」  
モーツアルト：交響曲第39番変ホ長調  
チャイコフスキイ：バレエ音楽「白鳥の湖」より

**チケット情報** 2012年1月21日(土) 10:00発売  
一般: 2,000円／大学生・高校生: 700円／中学生以下: 500円

※5歳未満のお子様の同伴はご遠慮ください。

## iichika presents マリイン斯基歌劇場管弦楽団

**とき** 2012年11月8日(木)

**ところ** iichika 総合文化センター  
iichika グランシアタ

指揮：ワレリー・ゲルギエフ

## iichika presents プラハ放送交響楽団

**とき** (平成25年) 2013年7月7日(日)

**ところ** iichika 総合文化センター  
iichika グランシアタ

指揮：オンドレイ・レナルト

<主催・お問い合わせ>財団法人 大分県文化スポーツ振興財団 大分市高砂町2-33 ☎097-533-4004 <http://www.emo.or.jp>

**【お願い】** ●演奏中および楽章間の客席への入退場は制限させていただきます。 ●やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更されることがあります。

●ご予約後の変更およびキャンセルはお受けできません。 ●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻しはできかねますのでご了承ください。

●未就学児童の同伴はご遠慮ください。託児サービスをご利用ください。(要予約: 満1歳以上の未就学児童対象。有料2,100円／お一人様。2月28日(火)17時までにお申込みください。)

●車椅子席のご予約は財団法人 大分県文化スポーツ振興財団へお電話でお申し込みください。